

## 4 調査結果

### 【小学校 第5学年】

平均正答率 (%)

教科	目標値	香取市平均	全国平均
国語	69.3	72.6	72.2
社会	60.5	69.0	60.5
算数	60.9	60.2	60.2
理科	68.2	71.6	69.7

目標値…学習指導要領の内容を平均的な配当時間で指導した場合に、児童が正答できることを期待した割合を示したもの。

### 【全体的な傾向】

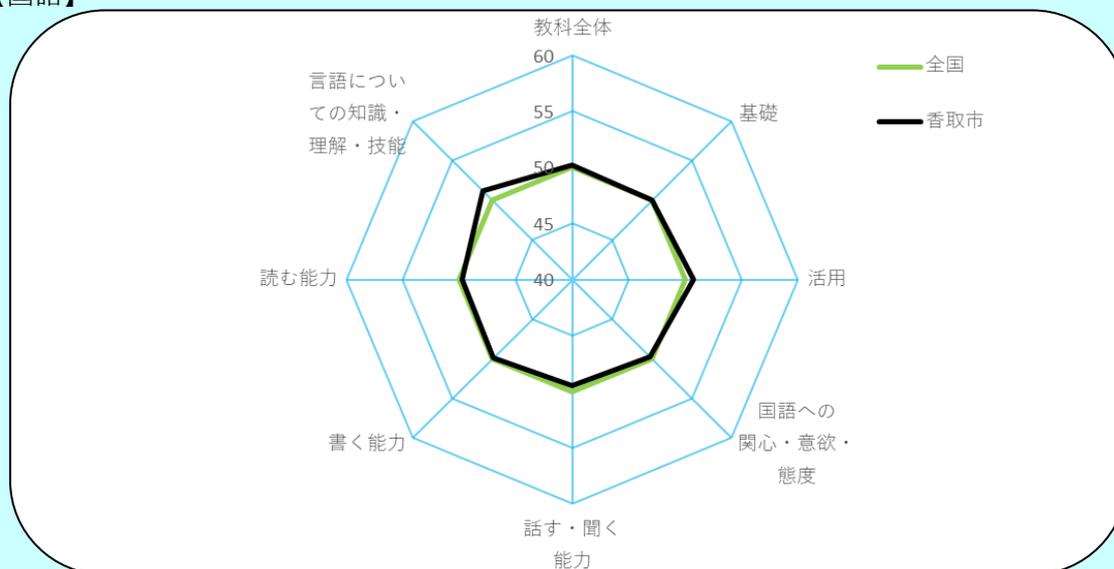
全体として、学習の実現状況はおおむね良好である。

教科別に市平均正答率と全国平均正答率（以下、全国平均）を比較すると、理科は継続して全国平均を上回り、国語、社会は昨年度から改善して全国平均を上回る結果であった。算数は、全国平均を下回る状況が続いていたが、改善が図られて全国平均と同等の結果であった。

### 【小学校の教科ごとの傾向】

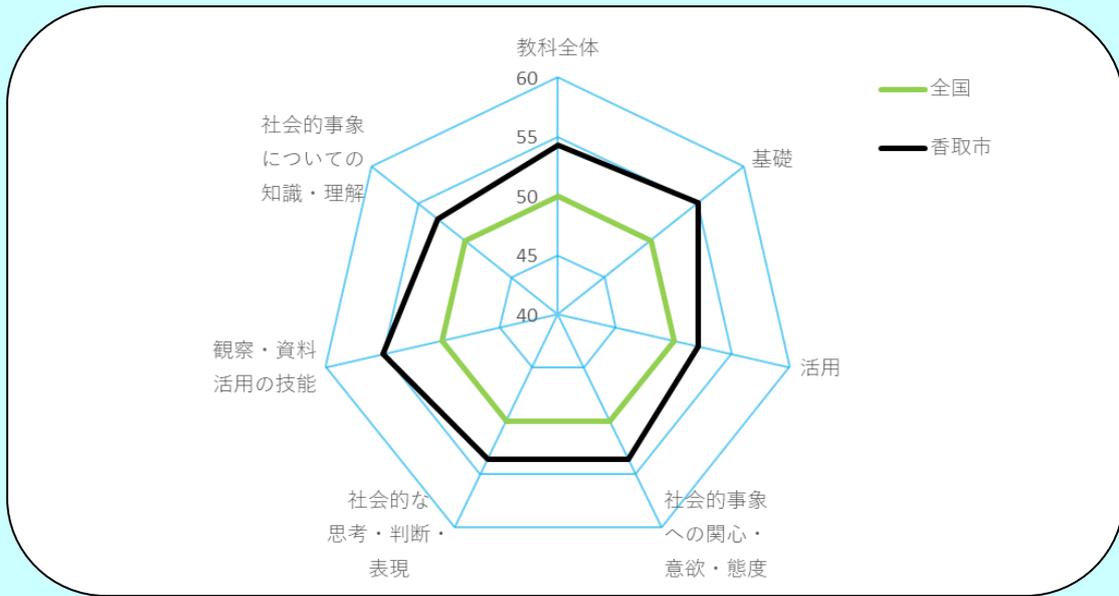
※グラフは全国平均を50として、香取市の平均正答率を相対的に表したものです。

#### 【国語】



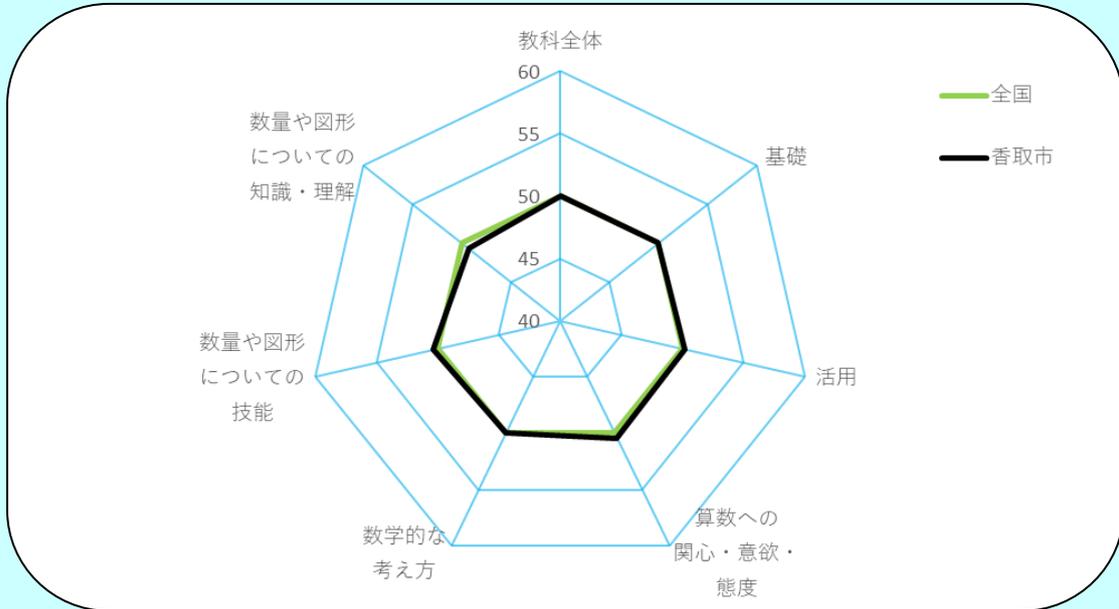
思考力・判断力・表現力を問う「活用」問題で全国平均を上回っている。また、「言語についての知識・理解・技能」では全国平均を上回り、特に漢字を書く問題や同音異字の使い分けを問う内容で正答率が高く成果が見られた。「話す・聞く能力」を問う内容では、話し手の意図を考えながら聞くことに課題が見られるため、「目的をもたせてメモを取りながら話を聞く」等の学習活動に取り組む必要がある。また、「記述」問題に課題が見られ、「指定された長さで文章を書くこと」や「2段落構成で文章を書くこと」等の条件を指定して書く活動に取り組む必要がある。

【社会】



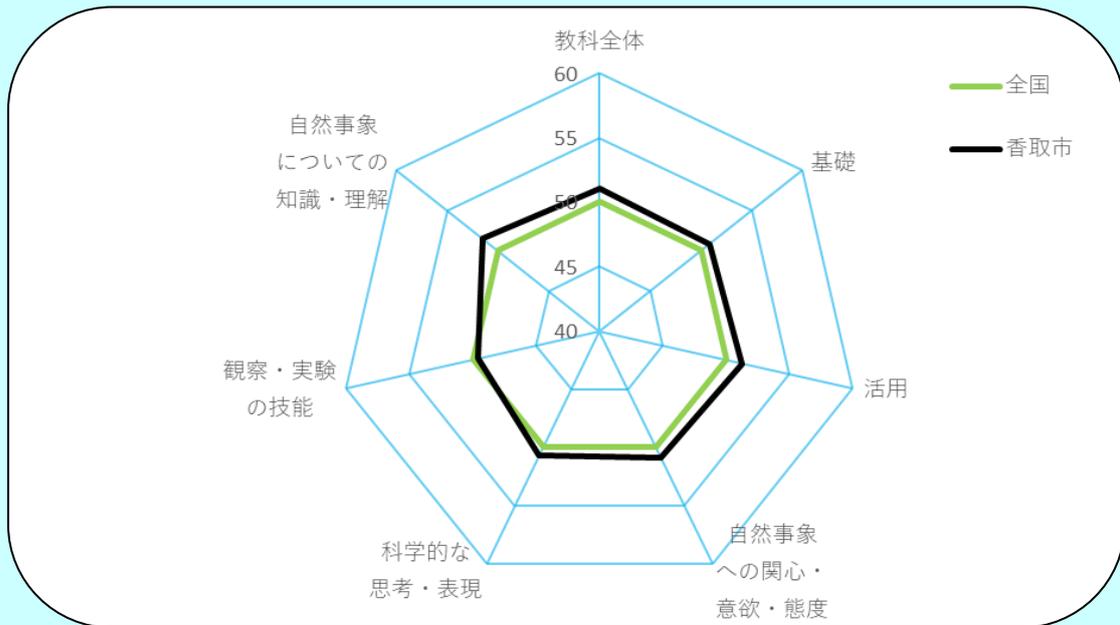
「基礎」「活用」ともに全国平均を上回る結果であった。全ての観点で全国平均を上回っているが、特に「観察・資料活用の技能」を問う内容では、日本の農業・工業について適切に資料を読み取り、生産・製造過程での工夫や努力について考察し表現することに成果が見られた。

【算数】



「基礎」「活用」ともに全国平均と同程度であり、昨年から改善傾向にある。また、「数量や図形についての技能」を問う内容で全国平均を上回り、小数のかけ算・わり算の基本的な計算問題で正答率が高く成果が見られた。「数量や図形についての知識・理解」を問う内容は全国平均を下回り、特に合同な図形の理解に課題が見られた。そこで、条件を変えて合同な図形を作図する中で、書ける条件と書けない条件を対比できるように整理するなど学習活動を工夫する必要がある。

【理科】



「基礎」「活用」ともに全国平均を上回る結果であった。また、「自然事象についての知識・理解」が全国平均を上回り、特に『魚の誕生』に関する知識を問う内容で正答率が高く成果が見られた。「観察・実験の技能」では、『植物の成長に肥料が必要かどうかを調べる実験方法を計画する』問題で課題が見られた。そこで、対照実験を行い差異に気付かせたり、発芽条件と混同しないように要点を押さえて丁寧に指導したりするなど工夫する必要がある。